

ふるすこあ

発行責任者
鳥井宏晏
東京都文京区千石
1-1-9
編集責任者
森宮延佳
平方朝彦

あけまして

おめでとうございます

昭和四十九年

元旦

名誉会長	佐藤力男
会長	鳥井宏晏
副会長	前田敏晴
参与	高橋寿
幹事	森宮延佳
副幹事	小野博美
事務局長	平方朝彦
会計	柴戸英一
会計監査	鈴木康友
年度代表	幹事一同
委員長兼 トレーナー	佐藤 宏
委員長兼 トレーナー	村田 浩
委員	高木 征治
委員	長島 光雄
委員	柴戸 英一
委員	大沢 和彦
委員	東郷 桂一郎
委員	会津 洋一郎
委員	沢谷 茂樹
委員	松本 耕一
後援	O B 会・事務局

楽器に親しむ会・実行委員会

O B 会・会長あいさつ

鳥井 宏晏

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は石油不足、金融引締に連れ、今年も波乱含みの年になるようですが、経済会の不況に負けず、日大ブラス O B 会は益々盛大に発展するものと思っております。その原動力は O B 会が若いからです。人生の後半期になって一つの境地に到達した人が抽象的に人生論を語っています。それよりも O B 会はどこに物事を吸収すべきではないかと思ひます。会社と自宅という線で結ばれた生活に、O B 会を加え、諸会に出席して日大ブラス O B の一員として現在の環境にある自分を再認識しようではありませんか。月並な言葉ではあります。一年の計は元且にありと申します。O B 会ならびに O B 諸氏の躍進を願ひしてやみません。今年も皆様の暖かい御援助、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「楽器に親しむ会」

は素晴らしい

実行委員長 佐藤 宏

O B の皆様、謹んで新春の御祝詞を申し上げます。日本大学吹奏楽研究会は皆様 O B 各位の努力と和の積み重ねにより、創立二十周年を迎え、O B 会も立派な大木に成長しました。そして O B 会という幹より、楽器に親しむ会という頼りない小枝が芽生え、日大講堂に於いて毎月二回、三十人前後の元学生が、学生時代を思い出して体力の限界と命令を悟りながら、吹奏楽を楽しんでいきます。本年は過去四回の開催を振り返って実行委員会よく検討し、名実共に立派な O B バンドへと発展させたいと思ひます。楽器に親しむ会も予想以上の O B の参加といううれしい誤算により、楽器不足や、資金的な問題等があります。実行委員全員でこの小さな芽を大きく成長させるべく研究し、O B 各位の積極的な参加により、小さな小枝に立派な花が咲くよう皆様の御協力をお願い致します。

楽器に親しむ会を通じて O B 各位の親睦が年輪のように輪となって広がって行くことだけを見て、他校に見られない日大ブラスの良さ伝統と O B 会の和の素晴らしさを誇りに思ひます。

「四十八年度納会」

日大講堂で開かれる

開かれる

昭和四十八年度の日大ブラス納会が、十二月二十六日両国の日大講堂でおこなわれた。例年、納会といえは椿山荘と決っていたようだが、今年は場所を両国に移して四十八年度のしめくくりをした。来賓、O B 諸氏が沢山みえたが、折からの石油不足等で暖房がなく、講堂の中は外と同じで出席者一同、大いにフルエアガッテしまった。

「辞退」

コンクール出場

黒川真一

昭和四十八年度の吹奏コンクールに我が日大ブラスが出場を辞退したという事は皆様に御存知のことと思ひます。八月二十八日の幹事会席上、主将の森君からこの話を聞き、来るべきものが来たという感を深くしました。O B の質問に対してもこれといった明確なものはない。人数も少ないし予戦で落ちるとか悪い」といふもののような感じでした。その後、佐藤監督に会いコンクールの件について意見を求めたところ、現役幹部の独断で決めたようにブラスとしての統一した答は得られませんでした。

「四十三年度卒業」

急逝

安田 透君

この度、昭和四十八年度全日本吹奏楽コンクール東京都大会予選不出場に決定致しましたのでご報告申し上げます。この事は、コンクールのあり方、意義、本質等の問題ではなく、当研究会の内部事情によるものです。この決定は、後世に残る大問題だと覚悟しております。

事務局より

O B ・ 現役名簿がようやく出来上り皆様のお手元に届いたと思ひます。また定演に來られなかった O B には一緒にプログラムも送りました。さて名簿の件ですが学生の作成したもの O B 会で O B の数だけ負担するといふ形をとったため内容については学生まかになってしまい、誤字、脱字、記載もれ等で大変御迷惑をおかけ致しました。O B 会でも極力確認に努めておりますが、もし間違い等がありましたら各学年の幹事が事務局までお知らせ下さい。

「何を今頃……」と少しかりを覚悟でズズウしく発行いたしました。今年になって初めての号なのでおゆるし下さい。ガンバリます。

(原文のまま)

楽器は O B 会で保管、当日配布して回収する。

活動援助金(シンバルカンパ)は会費等の名目ではなく、自然発生的なものなので使途については実行委員会にまかせることにする。

第二回楽器に親しむ会

十一月十八日(日) 一時~四時 両国・日大講堂

▽曲目

軍艦行進曲 国民の象徴 星条旗よ永遠 二人の日曜日

▽指揮

佐藤 宏 村田 浩 高木 征治 三十一名

第三回楽器に親しむ会

十二月三日(月) 六時~八時 両国・日大講堂

▽曲目

軍艦行進曲 シャレード パーナム&ベール ロレーヌ州 アンパルトロカ

▽指揮

長島 光雄

▽反省

今回は人数が少なかつたのでパートによつては編成が出来ず曲にならな所があつた。

▽十二月十六日(日)

第四回楽器に親しむ会

楽譜担当 柴戸英一 長島光雄 プラスの楽譜の他に、

一時~四時 両国・日大講堂

▽曲目

パーナム&ベール 白い恋人たち アンパルトロカ その他

▽指揮

佐藤 宏 村田 浩 二十五名

▽参加者

第五回楽器に親しむ会

一月二十日(日) 一時~四時 両国・日大講堂

▽曲目

アンパルトロカ 軽騎兵序曲 トランペット吹きの子守歌

▽指揮

村田 浩 二十三名

▽参加者

第七回楽器に親しむ会

二月二〇日(水) 六時~八時 両国・日大講堂

▽曲目

アンパルトロカ パーナム&ベール 軽騎兵序曲

▽指揮

長島 光雄 二十三名

▽参加者

簡単なものを随時そろえていく。

楽器担当 村田 浩 会津洋一 東郷桂治郎

簡単に修理出来るものは別として、高額のものについては O B 会からの援助等を検討してもらう。

▽二月四日(月)

第六回楽器に親しむ会

六時~八時 両国・日大講堂

▽曲目

アンパルトロカ 他数曲

▽指揮

佐藤 宏 高木 征治 長島 光雄 十八名

▽参加者

幹事会・報告

「楽器に親しむ会」も回を重ねて七回の練習を迎えました。この七回の練習の間には色々なことがありました。

ユーホニウム科がどういうわけか「もてもて」で必ずしも出ず者が出ます。なんでも先着順で先輩、後輩は一切関係ないとか。仕方なくホルン科へ出向して活躍するものが出る始末。

事務局でもこの不思議な現象を見逃すわけにもいかず各種の資料を調べたところ、秘かに皆勤賞をねらっている者が三名いることが判明しました。

皆勤の割には腕の方はマルダシのパートもあり今後の成行が注目されております。

(その二) ある日の練習風景を再現してみましよう。

指 ロングトーンとチェーニングはやりませ

指 これじゃ音なんか合

指 いっこネエよなあ

指 チョトだけ合せよう

指 音くれよ。

指 その音。その音。

指 はい次。

指 O B ベー。ベー。

指 O B ベー。ベー。

指 ビタリ。

指 それ以上吹くなよ。

指 (この間わずか数分。)

指 サア、それでは音が

指 無くなるよ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

指 やってましょ。

かぬてから要望のあつた、佐藤監督と O B 会との話し合いが、昨年九月二十六日の幹事会でようやく実現した。

この日は特に佐藤監督から「日本大学吹奏楽研究会について」というテーマで六項目にわたる問題が提起された。

一 会長の問題
二 監督の問題
三 コーチ、指導者の問題
四 学生役員の問題
五 二十周年記念演奏会について
六 演奏旅行等で世話になった人達と今後のあり方について

これら六項目についての経過

一 会長の問題

大学紛争以来、学生部の課外活動への方針が明確になつていないため、はっきりしてからの会長を選びたい。

二 監督の問題

その場合、学内処理、学部間の連絡をスムーズにさせるため、大学の理事クラスで音楽に理解のある人に依頼するつもりである。

三 監督の問題

佐藤監督から、現役を退いて会長の補佐的なことをし、監督は O B 会から選んでほしい、との発言があつた。

これに対し出席した役員、幹事の一致した意見として、現在の監督職を勤められる O B は誰もいないし、佐藤力男氏を日大 O B の指導体制からはずすことは不可能であるとの見解を示した。

しほらく現体制のまま進むことになる。

四 学生役員の問題

最近の学生の資質の低下(メンバーシップ)を考えると、現在のまま日大 O B の財産を食いつぶす恐れがある。

これからはリーダーシップを教えていく形をとって行きたい。

この問題は O B 会と直接関係がないので説明を聞くだけにどめた。

五 二十周年記念演奏会について

日大 O B の二十周年記念演奏会を企画している。現在、厚生年金会館を予約してあるが、詳細は未定である。その他に記念行事を企画したい。

六 演奏旅行等で世話になった人達と今後のあり方について

O B になつてからでも季節の挨拶等を出してもいい、その場限りのものにしてもらいたくない。

これらの諸問題については機会のあるたびに話し合いを持つことになつた。

滞納猶予

期限せまる

会費二年分

昭和四十八年度もあとわずかに残りましたが、会費を納めてない方が沢山あります。

O B 会の発足時(四十七年六月)の総会において、規約第五条の会費納入の義務に関して、二年間の猶予期間を設けました。この期間を過ぎても会費の納入がない場合は幹事会の裁定で退会処分になります。

この期限は今年の四月末日です。

二月末現在で該当する方が六十二名います。

O B 会としてこのような事態を避けるため、各学年の幹事が手紙や電話等で一生懸命呼びかけております。事務局からも個人宛の手紙を出しております。

これら一連の動きに対して何ら反応の無い場合は、日大 O B の資格ではなく、日大 O B 会会員の資格を失うこととなります。

御結婚おめでとう
ございます

大沢和彦氏
十月二十二日
福島県棚倉町

小泉具之氏
二月三日
明治記念館

出産おめでとう
ございます

小野博美氏
七月十一日
長女

前田敏晴氏
十月二十三日
女

平方朝彦氏
十一月十四日
長男

岩瀬修一氏
一月六日
長男

佐藤式壮氏
一月二十六日
次男

高木征治氏
三月四日
長女

※これ以外の方は詳細が不名なので略させていただきます。

O B 会にも締括りの時期がまじりました。

役員改選、会員資格の問題、楽器に親しむ会の運営等、大きな問題を沢山かかえております。

全国に散在する O B の皆さん!!

海外放送...? を見聞きするだけでなく、その声を聞かせて下さい。